

2023 JR総連春闘 加盟8単組交渉集約にあたっての見解

2023 JR総連春闘は、4月28日をもって加盟8単組すべての交渉を集約しました。今春闘は、物価の高騰による実質賃金の低下、長引く賃金抑制、新型コロナウイルスから回復傾向であるものの依然として交通・運輸産業が厳しい経営環境にあるなかでのたたかいでした。

JR総連は21春闘、22春闘の総括に踏まえ、加盟8単組と議論を重ね、物価上昇と組合員の生活実態に基づくとともに、職場の声を要求に高める運動づくりの強化に向けて、2つのスローガンを掲げ2023 JR総連春闘のたたかいの意義を確認し、加盟各単組は「ベア10,000円（物価上昇・生活向上分を含む）」の一律定額要求にこだわり、統一要求・統一闘争で「2023 JR総連春闘」をたたかい抜いてきました。

JR北海道労組は、2年連続でベアを引き出し、昨年を上回るベア一律1,000円を獲得し、JR東労組は、「所定昇給額の1/4+4,000円」の回答を受けるもJR総連春闘の要求額から乖離していることから妥結できないとして、6300件を超える組合員・社員の声を集約し、再申し入れを行い、統一要求・統一闘争にこだわってたたかい抜いてきました。JR東海労においてもベア1,000円の回答は到底妥結できないとして、再申し入れを行い、併せてJR東海会社が公表したベア「7,200円」のまやかしについて会社へ抗議し修正を求めてきました。JR西労においては、ベア3,000円の回答に対し再申し入れし、JR連合の低額相場づくりを批判してきました。また、本社前でスタンディング抗議行動を行う等の創意工夫した取り組みにより、春闘のただ中で組織拡大を実現してきました。JR貨物労組においては、2年連続でベアを引き出し、昨年を上回るベア平均1,000円（700円+0.1%）を獲得してきました。

5連協においては、システム労がJRSE分会へ波及効果を生み出すために、粘り強く交渉を行い一律ベア5,000円を獲得しました。鉄研労はベア1,000円を獲得し、さらに今までにない交渉と議論を重ねてきたことで、運動の前進と組織強化を勝ち取りました。聚楽労組は、昨年に引き続き有額回答を引き出し、過去最高額である3,200円の賃金改善を獲得しました。

2023 JR総連春闘は、要求満額獲得を実現できなかったものの各単組が従来にも増して粘り強い交渉を行うなど統一要求・統一闘争の力をいかに発揮したことで組織の強化を勝ちとることができました。今後はさらに総括を深度化させて2024 JR総連春闘のたたかいを構築していきます。

しかし、今春闘においては、経団連からの相次ぐ賃上げ要請に応じ、業績が好調な企業の要求満額回答提示に対して、たたかいの山場を前にJR内を含め労働側の早期妥結があり、統一闘争が破壊されたこと、それに対する連合の指導性の発揮など、労働者の力を一つに結集し要求を実現するには多くの課題が露呈しました。一方、JR連合は連合要求3%を下回るベア1%3,000円要求という低額相場を形成し、たたかう前から経営側に与する「春討」をつくりだしました。

JR総連は今春闘で明らかになった諸課題の克服に向けて連帯・共闘の輪をさらに強化していきます。

労連の仲間やグループ会社の仲間の春闘はこれからも続きます。JR総連は、連帯・共闘の精神で最後までたたかい抜いていきます。

日本は、安保関連3文書の改定によって、戦争体制強化に向けて突き進んでいます。軍備増強のための増税、高齢者の医療費負担増をはじめとした社会保障の切り下げなど、私たちの暮らしは厳しさを増すばかりです。JR総連は、組合員と家族のいのちと暮らしを守るために、憲法9条を守り抜き、一切の戦争政策に反対し続けていきます。

最後に、2023 JR総連春闘をJR総連の旗のもとにたたかい抜いていただいた加盟各単組のみなさんに感謝申し上げ見解とします。

2023年4月28日
JR総連執行委員会